

NANTAN

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2018

No. 16



▲山口小学校 社会見学

災害状況



平成30年
6月20日現在

- ・火災… 17件
- ・救急… 1,428件
- ・救助… 24件

主な内容

特集 焼却火による火災について
救助工作車更新について …… 2・3

- ◆ 密集地合同訓練
消防ふれあい祭り …… 4
- ◆ トライやるウィーク
水難救助訓練
危険物安全・安心大会表彰 …… 5
- ◆ 消防写真館
消防白書・火災調査レポート …… 6・7
- ◆ お知らせ …… 8

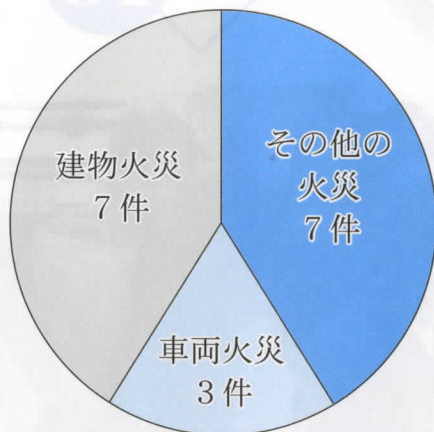
住宅用火災警報器が大切な「命」「財産」を守ります！

- 全ての寝室(子ども部屋含む)と2階以上に寝室がある場合は階段にも必ず取付けましょう。
- 設置しておよそ10年が交換の目安です。

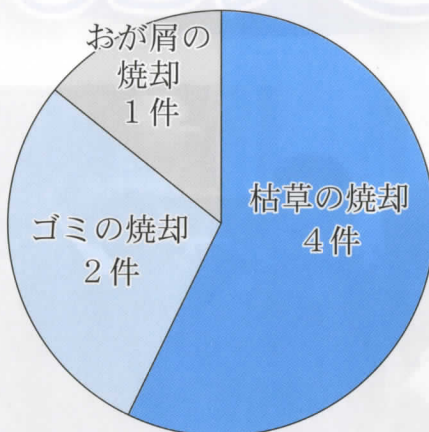


焼却火による火災が多発しています

平成30年1～5月に発生した
種別ごとの火災件数



「その他の火災」の出火原因の内訳



※その他の火災とは、建物・車両・船舶・航空機・林野火災以外の火災

南但消防本部管内で平成30年1月から5月にかけて17件の火災が発生しました。昨年の同時期の11件と比べると大幅に増加しており、焼却火による火災が大半を占めました。また、焼却火が原因の火災で負傷者が2名発生しました。火災が発生しないよう、火の取扱いには十分注意してください。特に、空気が乾燥した日、風の強い日には注意をお願いします。

ゴミや枯草の 焼却について

平成30年1月から5月までに発生したその他の火災7件は、すべて焼却火が原因でした。

さらに詳しく分類すると枯草の焼却が4件、ゴミの焼却が2件、おが屑の焼却が1件となっています。

ゴミの焼却は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の例外規定を除き、原則禁止となっています。違反した場合は『5年以下の懲役、若しくは1千万円以下の罰金、またはその併科に処せられる』と規定されています。ドラム缶やブロック囲い等での焼却も罰則の対象となります。なお、枯草や木片等の焼却も同様に扱われる場合があります。

例外規定の事例として、稲

わら、あぜ草焼き等の「農業・林業を営む上での焼却」、たき火・キャンプファイヤー等の「日常生活を営む上での軽微な焼却」、どんど焼き等の「風俗習慣上又は宗教上のための焼却」などがあげられます。こういった場合に火を取扱うことは可能ですが、いずれの場合も事前に消火器や水バケツ等を準備しておき、すぐに消火ができる備えをした上で行ってください。

火事を防ぐために 防火意識を高める

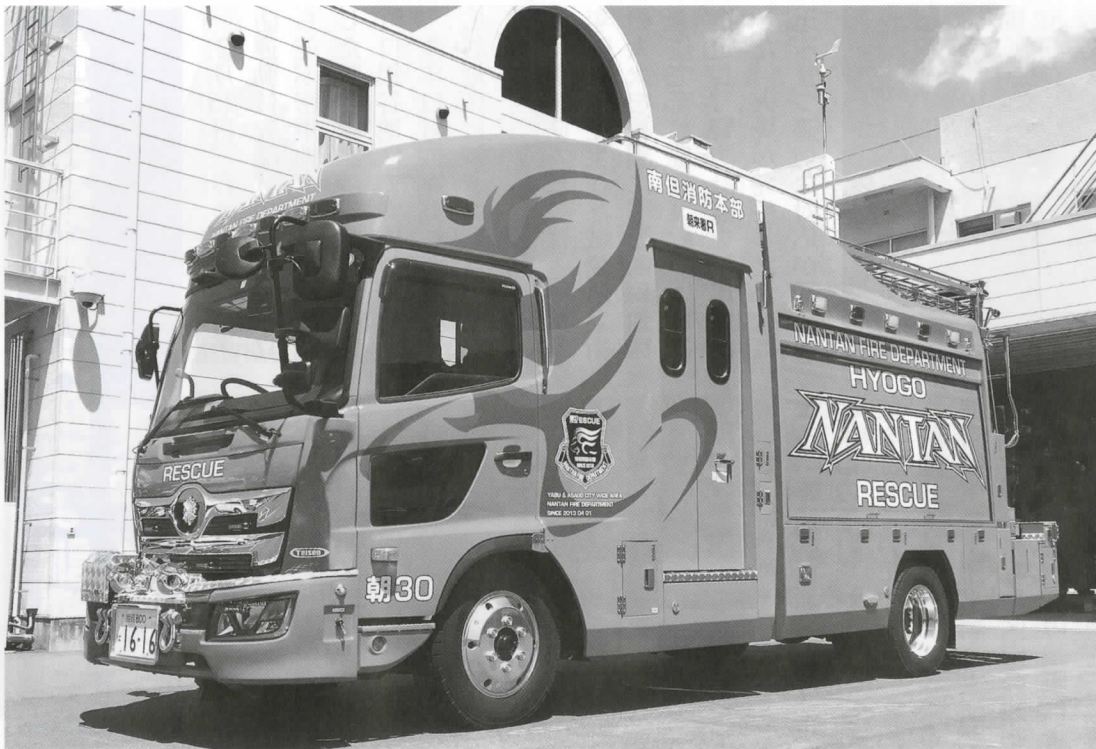
農地の多い南但地域では春先の農繁期になると田畑で火を使う機会が増え、それに伴い、火災の発生する危険も増えます。

乾燥時には 特に注意を

前述した、焼却火が原因の7件の火災の内、6件が乾燥注意報発令下に発生しています。

湿った紙より乾いた紙の方が燃えやすいように、空気が乾燥している時には物が燃えやすくなり、火災の危険性が高くなります。また、風が強く吹くと燃焼物に酸素が供給され、物が燃えやすくなります。さらに、炎が風にあおられ、思いもよらぬ方へ燃え広がってしまう可能性も高くなります。

火災を防ぐために「火をつけた時には絶対にその場を離れない」、「やむを得ずその場を離れる場合は必ず火を消す」、「火を使用する場合には燃えやすい物を近くに置かない（燃えやすい物の近くで火を使用しない）」以上の事を必ず守ってください。もし準備していた消火器具で消火の対応が出来なくなってしまった場合には、直ちに119番通報をしてください。これらのことを守って火災のない安全・安心なまちづくりに努めましょう。



救助工作車が 新しくなりました

平成29年度事業で16年間使用した朝来消防署の救助工作車を更新しました。

この救助工作車は火災で逃げ遅れた人や交通事故で車内に閉じ込められた人を安全な場所へ救出する目的でつくられています。

子ども達には「レスキュー車」の愛称で親しまれている車です。

この車両には常時5トン以上の力で牽引できるウインチや最大吊り上げ能力が2.9トンの4段クレーン、更に夜間の視認性と活動性を確保する6000WのLED照明装置のほか、多くの救助機材を積載しています。想定される様々な災害に対応できるように考え抜かれた車両です。

また、今回導入した車両は兵庫県下で初めてとなるバス型救助工作車で後部座席が大変広く、大人の男性が腰を曲げずに立つことができます。

このことにより現場へ向かいながら個人装備等の準備ができ、より早い現場活動が可能となります。更にキャビンのデザインは、歌舞伎の「隈取(くまどり)」をイメージしています。「隈取」は歌舞



▲交通事故等で活躍する油圧救助資機材

伎の役の中で、超人的な力をもった英雄などの演じ手が施す特殊な化粧です。「隈取」をイメージしたデザインを救助工作車に施すことにより、南但消防本部の救助隊もこの力にあやかっけて災害に立ち向かうという、強い気持ちを表しています。

この車両は平成30年4月1日から運用を開始しており、北近畿豊岡自動車道をはじめとする自動車専用道路や国道等の交通事故など、各種災害現場で力を発揮しています。私達、消防士の仲間として大切に使っていきます。



▲大規模地震に備えた救助資機材を積載



住宅密集地火災防ぎよ訓練を 実施しました

2月25日、春の全国火災予防運動に先駆けて、住宅が立ち並ぶ密集地での火災を想定した防ぎよ訓練を朝来市生野町口銀谷地区で実施しました。昨年11月に実施した養父市広谷地区に続き2回目となります。

南但消防本部では、平成27年1月に発生した城崎温泉街の大火を教訓に、管内14地区を住宅密集地火災危険区域に指定し、警防計画を策定しました。火災が発生した場合に迅速且つ適切な対応が行える



よう、平成29年から養父市、朝来市のそれぞれの地区で訓練を行っています。

訓練には消防本部、朝来市消防団生野支団・朝来支団が参加し、口銀谷地区内の建物から出火、折からの強風により隣接する住宅や周囲に延焼拡大の危険性があるとの想定で実施しました。

訓練では地元消防団のみでは対応困難と早期に判断し、近隣支団への応援要請、消防本部には梯子車隊などの出動

要請を行いました。

また、迅速な状況把握による危険予知、密集地周辺の水利状況の再確認をはじめ、長距離中継送水からの放水訓練や情報伝達訓練を行いました。今後も引き続き関係機関との連携強化を図ると共に、地域住民の皆さんの防火意識の高揚と、災害対応能力の向上を目指して、住宅密集地訓練を実施していきます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。



第16回消防ふれあい祭り

4月22日、和山町内の商業施設駐車場で「第16回消防ふれあい祭り」を開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、多くの来場がありました。毎年大人気のはしご車の乗車体験をはじめ、消火器の使用体験や住宅用火災警報器の展示等を行いました。また、更新した県下初のバス型救助工作車等の消防車両も展示しました。はしご車の乗車体験は、開始前から行列ができるほど大盛況で、たくさんの子ども達も順番を心待ちにされていました。



▲はしご車の乗車体験



▲消火器の使用体験

いざ順番がくると恐る恐る乗り込む子どももいましたが、降りるときには、「隣に憧れの消防士さんがいたから怖くなかった。もう一回乗りたい」と目を輝かせながら答えていました。

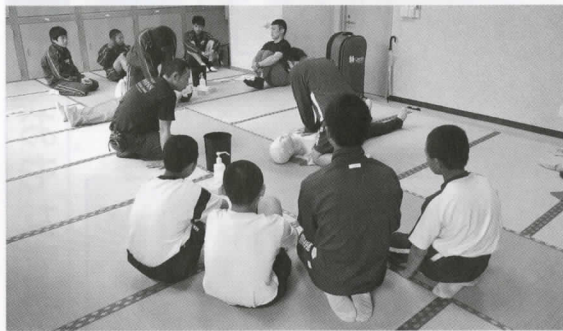
また、一緒にホースを握りしめ、的に向かって勢よく消火する親子や消防車を背景に記念撮影する家族連れ等、多くの方々も消防とふれあう一日となりました。

今後も同様な取組みを通して、防火・防災に関心を持っていただければと考えています。

消防士に トライやる



▲山岳救助資機材取扱訓練の様子



▲普通救命講習の様子

今年も養父・朝来市内の中学2年生を対象としたトライやるウィークがそれぞれ5月28日から6月1日までの5日間、両消防署で実施されました。この取組みは、阪神・淡路大震災等を機に、「生きる力」を育むため、職場体験などを通して地域の人々と交流する「心の教育」を目的としています。

朝来消防署には、和田山中中学校生4人が、また、養父消防署には、関宮中学校生1人、大屋中学校生1人、八鹿青溪中学校生2人、養父中学校生1

人の合計5人が参加しました。消防署では、職員と一緒に整列して勤務交替と体操、消防車両、救急車両の点検整備から1日が始まります。

消防体験では整列や敬礼等、消防士としての規律、基本動作の習得や実際に筒先を持って放水の体験、空気呼吸器を取扱う訓練、ロープ結索などを行いました。また、仕上げに火災を想定した消防訓練を行った際は、チームワークを発揮し、見事な人命救助を見せてくれました。

救助体験では15mの高さの、はしごを登る訓練や、水平に張った20mのロープを渡る訓練を行いました。また、腕立て伏せや腹筋、ランニング等の体力トレーニングでは、自



▲消防訓練の様子

分の体力を振り絞って救助隊員にくらいついていました。救助体験では心肺蘇生法を通して、人工呼吸及び胸骨圧迫等の技術を習得し、命の大切さを学びました。予防体験では煙中避難や初期消火の体験、また、養父公民館にて查察の見学(養父署)を行いました。初日は声も小さく動作も緩慢でしたが、日が経つにつれて徐々に声も大きくなり、節度ある行動が出来るようになりました。今回のトライやるウィークで得た知識・技術・精神力、そして仲間や命を大切にすることを、チャレンジ精神を常に持ち、あらゆる分野で活躍してくれることを期待しています。

水難救助訓練

水の事故が多く発生するシーズン前に、救命ボートを使用した訓練と急流救助対応訓練を4日間にわたり行いました。

この訓練は、両署合同で水難救助資機材の取扱いを確認し、現場で共通認識のもと、迅速かつ安全な救出を目指すことを目的に行いました。急流救助対応訓練では、河川に要救助者が流された想定し、陸上からスローバックを活用した救出と、急流への入水による救出訓練を行いました。

今後、ゲリラ豪雨等による河川での事故に備え、このような訓練を重ね、隊員の技術向上に務めていきます。



▲スローバックによる救出

平成30年度兵庫県 危険物安全・安心大会

危険物安全週間中の6月7日(木)「兵庫県公館」において、平成30年度兵庫県危険物安全・安心大会が盛大に開催されました。

危険物の保安に功績のあつた功労者及び優良事業所、優良危険物取扱者に対し表彰が行われました。南但危険物安全協会からは、次のとおり受賞されました。

◇消防庁長官表彰
【危険物保安功労者】

福田 和起 様

(福田屋石油株・写真右)
◇兵庫県危険物安全協会
代表理事表彰

【優良危険物取扱者】
秋山 十九代嗣 様

(秋山石油店・写真中央)

【優良事業所】
豊岡採石(株)八鹿工場 様

(写真左)



消防写真館



避難訓練 (2月22日 さつきホーム)

地震を想定した避難訓練が行われました。利用者の皆さんも、机の下に潜り込み避難される等、熱心に取り組まれました。



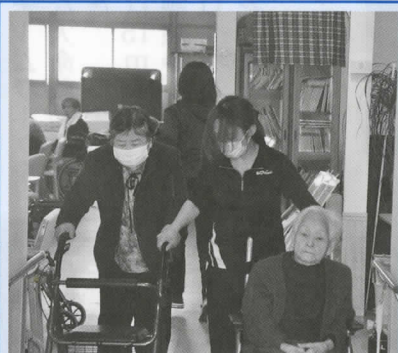
避難訓練 (2月14日 ボランピアライフ)

訓練用の煙を焚き、避難訓練が行われました。実際に火事になったことを想定し、消防士の訓練指導通り、ハンカチで口を押さえ、避難されました。



消防訓練 (4月13日 和田山生涯学習センター)

避難訓練後、いざという時のため、お母さん方が訓練用の消火器を使用し操作手順を学びました。



避難訓練 (3月12日 なごみの郷)

火災を想定した避難訓練が行われました。もしもの時に備え、利用者さんを安全な所に避難誘導されていました。



消防訓練 (3月4日 万灯の湯)

消火器の取扱い訓練を行いました。「①安全ピンを抜く②ホースを外す③レバーを握る」の順で確実に消火されました。

救急
※件数、搬送人員ともに減少
救急件数は1,272件、搬送人員は1,131人でした。前年同期と比較して件数は40件、搬送人員は38人減少しています。

救急

種別	署別	総数	朝来署	養父署
総数		17 (11)	13 (5)	4 (6)
建物		7	5	2
林野		0	0	0
車両		3	2	1
その他		7	6	1

()内は前年件数

火災
※朝来署で増加
火災件数は両署合わせて17件で、前年同期と比較して6件増加しています。なかでも朝来署は昨年と比較して8件増加しています。

火災

消防白書

平成30年
1月～5月

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		23 (27)	8 (12)	15 (14)	0 (1)
交通事故		8	3	5	0
機械		2	2	0	0
水難		0	0	0	0
その他		13	3	10	0

()内は前年件数

救助
※件数は減少、救助人員は増加
救助件数は23件、救助人員は16人でした。前年同期と比較して件数は4件減少し、救助人員は4人増加しています。

救助

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		1,272 (1,312)	636 (689)	636 (619)	0 (4)
急病		812	430	382	0
交通事故		68	33	35	0
一般負傷		214	91	123	0
その他		178	82	96	0

()内は前年件数



庁舎見学 (5月・6月 左:広谷小学校 右:中川小学校)

今年もたくさんの小学生が消防署の見学に訪れました。救助袋を使用した避難訓練や煙で充満した部屋からの脱出訓練、様々な種類の消防車を見学したりしました。元気いっぱいの笑顔が溢れるなか、「将来の夢は消防士です」という頼もしい声があがっていました。



消防訓練 (4月28日 但馬重機)

粉末消火器を使用し、実際に消火する訓練が行われました。皆さん、火元を目掛けて確実に消火されました。



消防訓練 (5月27日 田路地域)

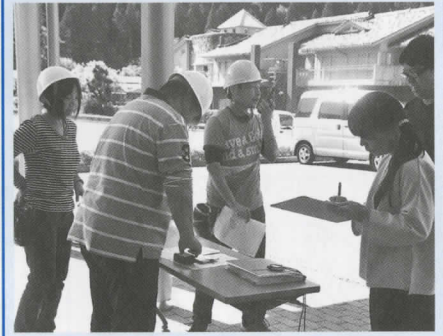
クリーン作戦後、朝来市消防団の指導のもと、消火栓を使用した放水訓練が行われました。子ども達も一緒に初期消火の大切さを学ばれました。



甲種防火管理新規講習

(5月24日・25日 朝来消防署)

職場における防火のリーダーに必要な知識や技術の習得を目的に講習会を開催しました。終始熱心に受講されていました。



避難訓練 (5月21日 ケアハウス朝来)

あさがおホール職員の方も参加され、避難訓練が行われました。現場指揮所を設定される等、本番さながらの訓練でした。

一般的には洗浄部位以外に洗浄液が飛散しないよう、取扱説明書に従って養生する必要があります。また、もしも洗浄剤が飛散してしまつた場合でも、すぐに発火危険がある訳ではありませんが、数週間から1年程度かけて徐々に電気部品を侵食し、異常や故障、最悪の場合は発火事故へと繋がってしま

件近く発生しています。幸いに管内ではこのような火災は起きていませんが、全国的にみると、毎年100件近く発生しています。

間もなく梅雨明けし、今年も酷暑の季節がやってきます。エアコンを使用されるご家庭では、使用前のお手入れにエアコン洗浄剤等を使われることがあるかも知れません。

エアコン洗浄剤に起因する火災について
火災調査レポート

ます。

そこで、こうした事故を防ぐために皆さんにお願いがあります。

- ① 洗浄剤を使用する際は、取扱説明書をよく読み、注意事項を守ることを。
- ② 洗浄部位以外に洗浄剤が飛散した場合は、しっかりと拭き取ることを。
- ③ 洗浄後に使用する際は、異音や異臭に注意し、異変があればすぐに使用を中止すること。
- ④ 業者によるクリーニングでも同様の事故が起こる可能性があるため、注意事項をしつかりと守り、事故のないようお願いします。



お知らせ

INFORMATION

◆42人目の 救急救命士誕生

兵庫県救急救命士養成所での研修を終え、国家試験に合格し救急救命士となった丸山竜太消防士長(31)です。「学んだ知識・技術を南但地域の皆様のため最大限発揮し、信頼される救急救命士を目指します。高い目標、また謙虚な気持ちを持ち、日々自己研鑽に努めます。よろしくお願ひします」



◆初期消火協力者に感謝状

平成30年3月31日12時頃、朝来市山東町早田で発生した火災で、自宅近所の空地から何かが燃えるような音と煙を発見した岡田泰洋さんは、息子の岡田晴樹さんと協力し、消火栓と自宅の水道を使用し、適切な消火活動を行い、同火災による延焼を最小限に食い止められました。



◆朝来市医師会から 訓練用AED寄贈

朝来市内の医療機関で構成される朝来市医師会から、訓練用AEDを寄贈していただきました。応急手当の普及啓発のため、大切に使用させていただきます。



◆全国統一防火標語

忘れてない？
サイフにスマホに
火の確認

◆消防本部消防職員 採用試験

●職種 消防職
●採用予定人員 若干名

●受験資格

◎一般試験：平成6年4月2日以降に生まれた方で、高等学校以上の学校を卒業した方又は平成31年3月に卒業見込みの方

◎社会人試験：平成元年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方で、高等学校以上の学校を卒業したのち民間企業等(官公庁含む)での職業経験が平成31年3月末の時点で通算して3年以上(平成2年4月2日以降に生まれた人は1年以上)ある人

●受付期間

平成30年7月23日(月)から平成30年8月17日(金)まで

●試験日

平成30年9月16日(日)

詳しくは消防本部ホームページをご覧ください

●問い合わせ先

消防本部管理課
☎079(672)0119

編集手帳

▼最新鋭の救助工作車が配備されました。住民の皆様の期待に応えられる現場活動ができるよう習熟訓練を重ねるとともに、適切な車両管理に努めていきます。

▼今年も、両市内の中学校から9名の生徒をトライやるウィークで受け入れました。あいさつの仕方など、年々礼儀正しくなる気がする一方で、がむしゃらに頑張る子が少なくなっているようにも感じます。

▼職員98人の南但消防にあつて、42人目の救急救命士が誕生しました。救急救命士制度ができて四半世紀、消防の救急業務に対する社会の要請、住民の皆様の期待は、益々高まっています。丸山消防士長には、救命の熱い思いを忘れることなく愚直に任務を果たす信頼される救急救命士になつてもらうようエールを送りたいと思います。

▼梅雨末期は大雨への注意が必要とされています。身の回りの備えを今一度お願ひします。☺



NANTAN 119だより

NANTAN 119だより第16号
2018年7月1日発行 (年3回発行)
●発行・編集
南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町杖田436-1
●TEL 079-672-0119
●FAX 079-672-5046
南但消防本部